

令和5年度 第1回 嘉麻市地域包括支援センター運営協議会 議事録

(日時) 令和5年5月30日(火)

13:30分~14時30分

(場所) 嘉麻市本庁舎 5階 委員会室2

(公開・非公開・一部非公開の別) 公開

(出席) 10人

(傍聴人数) 0人

## 1. 開会の言葉

## 2. 議題

### (1) 令和4年度 高齢者相談支援センターの事業実績の報告について

事務局：〔資料1に沿って説明。別紙①、別紙②、別紙③を参照〕

### (2) 令和5年度 高齢者相談支援センターの事業計画について

事務局：〔資料2に沿って説明。重点課題のみ(太字部分)〕

・運営体制>②活動計画>地域包括支援センター委託の検討について説明  
センター業務を委託している近隣市からの情報収集を行いながら、引き続き検討。

・権利擁護業務>成年後見制度>成年後見制度利用促進計画および中核機関設置の検討(他  
市町及び他課と協議)について説明  
引き続き近隣市町村、社会福祉課等と協議を行い進めていく。

・認知症にやさしいまちづくり事業>①認知症の普及啓発>アルツハイマー月間イベント、  
図書館との協賛。認知症サポーター養成講座の実施(小・中学校生への普及)について説明  
他係との協賛、小学校・中学校での普及啓発に向けての取り組みを実施。

・一般介護予防事業>ウ、介護予防教室の開催>ケアトランポリンインストラクター養成  
事業について説明  
募集がなかったため、今年度も継続して取り組む。

・一般介護予防事業>エ、地域介護予防活動支援事業>協会及び東大方式のフレイルチェ  
ック実施について説明  
理学療法士を中心にフレイルチェックを行い、データ分析・評価を参加者に伝え、今後もフ  
レイル予防に努める仕組みづくりに取り組む。

【質疑応答】

委員：成年後見制度の報酬助成の条件について、見直し等の検討があるか。

事務局：報酬助成については、全国的な動きも見ながら検討していきたいと思っている。

委員：嘉麻市の中核機関設置についてはどのようになっているか。

事務局：高齢者介護課だけでなく、社会福祉課との検討が必要になる。協議継続。

(3) 災害時用配慮者支援体制整備事業の事業評価について

事務局：〔資料により説明〕

【質疑応答】

委員：個別計画については、地域方々（行政区長、民生委員等）の力を活かしたものになっているか。

事務局：個別計画については、居宅介護支援事業所等に依頼して作成しており、地域の方が参画する形では作成していない。また、秘匿性が高い情報であることから地域には情報提供していない状況である。現在、地域へは避難行動要支援者名簿を配布し、地域の要支援者の情報を提供している。

委員：防災対策課との連絡、情報交換を積極的に行っているか。

事務局：防災対策課との情報交換については、要支援者システムを防災対策課と共有し、情報管理している。また、要支援者対策を進めるうえで、その都度相談しながら進めている。

委員：自主防災組織で要支援者の対策を考えているが、市の対応が見えない。地域にお任せみたいにも受け取れるので、名簿だけでなく、もう少し市も踏み込んだなることを希望している。

委員：個別計画を作成することは、災害があった時にどう対応するか、家族と一緒に考えるいい機会になっている。

要支援者が避難所である程度過ごせるのか、避難所の情報を日頃から知っておく必要があると学んだ。避難所の見学会が開催あったが、そういった取り組みを少しずつ繰り返してやっていく必要があると思う。

要支援者は地域の人に相談してよいのか不安をもっている。個別計画が少しでも生きたものになるように、ケアマネも悩んでいるし、地域の方もどう動いていいのか悩んでいると思うので、そういった橋渡しを市にしていきたい。

高齢者の避難について、どういうところを目指しているのか明確なものがあれば、地域の方もそこに向けて頑張れるのではないかと思う。

事務局：避難所の見学会については、運営協議会委員からの意見として防災対策課へお伝えする。

個別計画については、地域全体への情報提供は行っていないが、要支援者に地域へ情報提供を行ってよいかの同意確認は行っており、同意している方の個別計画については情報提供できるので、相談いただければ対応していきたい。

委員：私の地域では、地区公民館分館で自主防災組織を立ち上げたが、ケアマネや社会福

祉協議会と情報を共有しながら防災組織を作りたい。

委員：ケアマネ、行政区長、民生委員等が相談し合えるような環境づくりが必要と思う。社会福祉協議会の役割としては、そういった繋がりを作っていくことであり、行政区長や民生委員と連携しているので、ケアマネを含めて繋がりをつくっていただければと思う。

行政区長や民生委員さんに要支援者について相談しても個人情報のことを気にして、あまり話されないことがあり、名簿をもらっているだけの状態になっている。名簿を渡す際に、説明し、繋がり方を一緒に考えていただけるとより良いものになると思う。

委員：ケアマネや社会福祉協議会が連携できるような情報を提供していかないと点で動いている状態になっている。市はそういった繋がりを持つことができるよう進めていただければと思う。

【事業評価について】

委員：協議会の評価については、B評価としたい。

### 3. その他

#### 介護用品支給事業の今後の方向性について

事務局：〔資料により説明〕

【質疑応答】

委員：介護用品支給事業については、現物支給で実施しているのか。

事務局：現物支給で実施している。

【今後の方向性について】

回答書により、現状のまま継続との意見を多数いただいた。